

SDGs宣言書

墨田区長 様

私たちは、持続可能なまちづくりに向け、下記のとおり、SDGsの推進に墨田区とともに取り組むことを宣言します。

<宣言日・変更日> 令和6年5月15日・令和6年7月26日

企業・団体名： 榎本設計事務所  
 代表者 役職： 代表  
 氏名： 榎本 美佐子

記

事業者・団体等としての2030年までのあるべき姿	5：仕事に性別は関係ない 6：能登地震の避難所生活で周知されたように水とトイレは必要不可欠であり上下水道の整備に貢献 9：建設業界に興味を持ってもらえるように生産性向上に努め、誤認がないように視覚的にわかりやすい成果品を心がける 11：近年、多発する震災に備えて今できることはやる精神で情報発信していく 17：高い理想を掲げたところで一人ではできないことには限界があることから官民連携を普及させる							
・ 関連するSDGsの目標すべてに○をご記入ください。（複数選択可）								
				<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>		
		<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>		
				<input type="checkbox"/>				
・ ○を記入していただいたSDGs目標の達成に向け、すでに具体的に取り組んでいること、又はこれから取り組むことをご記入ください。								
・ 建設コンサルタント業務においてCIM(3D)設計に対応できるように取り組んでいる。 ・ 墨田区は海拔0メートル地帯であることから、首都直下型地震が起こった際に最低限の被害で済む方法を検討していく。								
SDGs達成に向けた特徴的な活動	令和6年1月1日の能登半島地震から4か月が経過したところで液状化被害が著しかった新潟県において河川付近の道路沿いを歩き現場を確認した。側方流動に起因するものであっても隣接する建物で被害の差が大きく出ていることから、地盤基礎の重要性を感じた。 東日本地震では遠く離れた茨城県神栖市で過去に下水道設計を行った現場のマンホールが浮上していた。 今後予見される首都直下地震の被害に備えて今できることを進めるため、関係機関との連携を図っていく。							
宣言日から3年間の成果指標（定量的な目標）	CIM(3D)設計の普及を図ることで土木設計のミスを減らし、技術の継承をしていく。							
業種	建設業							
事業所数（本社が提出する場合のみ）	1 社							
従業員（構成員）数	1 名 （うち外国人 0 名）							
所在地	〒 130-0022 東京都墨田区江東橋1丁目12-1-403							
URL	いいえ							